

環境循環型企業を目指して

TDKアモイの取り組み

はじめに

TDKでは、環境循環型企業の構築を目指し、本体・グループ全社を挙げてゼロエミッション活動に取り組んで参りました。その結果、国内本体工場及び子会社は2003年度までにすべての事業所でゼロエミッションを達成し、海外事業所は19カ所すべてで2006年度に達成いたしました。

TDKアモイの取り組み

海外生産比率は年々上昇しており、特に中国には過半が集中しています。その一つが、フェライトコア、電源トランス、コンデンサ、コイルなどの生産拠点であるTDKアモイ(TDK Xiamen Co., Ltd.)です。

TDKアモイでは以前より環境保護活動に力を入れ、国際標準化機構が定めた環境マネジメント・システムであるISO14001に関連する体制を構築してきました。

このたび、節水や省エネ活動によりアモイ市より「資源節約先進企業」としての表彰を受けました(節水表彰は2006年5月、資源節約表彰は2007年1月)。省エネ活動により原単位使用エネルギーが改善されたこと(0.56トン標準石炭/万元)、漏洩防止と節水で一日795トンの節水ができたこと、原単位使用水量が改善されたこと(3.75トン/万元)などが、その理由です。



具体的には、TDKアモイでは次のような取り組みを行いました。

■ ファンの効率改善

大型ファン10台のモータを11kw⇒ 5.5kw、1台を18.5kw⇒ 7.5kwに変更しました。負荷の低い2台を1台に統合し、1台を停止しました。

■ 空調冷却塔の改善

個別空調(大型水冷式)の冷却塔の運転を自動化しました。

■ 大型モータのコンデンサ容量を変更

コンプレッサ、冷却水ポンプなど大型設備のモータのコンデンサ容量を減らし、損失を改善しました。

■ 圧縮空気配管改善

配管を太くして圧力損失を減らしました。コンプレッサにインバータを導入し、自動調節を可能にしました。

■ エアコン冷却塔の移設

中央空調機の冷却塔の近くに焼成区があり、放熱がよくないので、H棟屋上の放熱がよい場所に移設しました。

■ 変圧器に自動力率調整器を取り付け

変圧器に自動力率調整器がついていないため、効率は0.87でしたが、それをつけたため、効率は0.96まで改善されました。

■ 空調機制御を自動化

中央エアコンに自動制御装置を導入し、冷却効率を高めました。

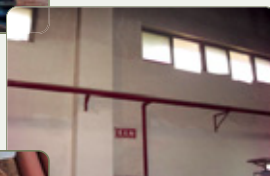
■ 用水使用の改善

水の循環使用や蛇口改善などにより、一日2,900トンのうち約800トンを節水しました。

① 洗浄水回収沈殿池



② 地下消防配管を地上化し、漏水対策を徹底



③ 計量器を設置し、常時監視、漏洩予防



④ アセトン再生装置冷却水を緑地の散水に再利用



まとめ

今後、海外での生産比率の上昇とともに、排出物の量・種類とも増加することが予想されます。TDKでは、これまで培ってきた技術とノウハウをもとにゼロエミッション活動を継続し、資源循環型企業の構築を目指して、地球環境に貢献していきます。

一人ひとりの能力を最大限に伸ばす「成長目標プラン」

TDKでは「企業は道場である」を人材育成の基本理念の一つの柱とし、「自律型人材の育成」すなわち、「自ら考え、主体的にビジネス活動が行える人材」の育成に積極的に取り組んでいます。この教育理念の実現のために、TDKでは、2005年から社員の能力を最大限に伸ばす全社運動として、「成長目標プラン」を実施しています。

この「成長目標プラン」とは、期首目標設定の場で、社員と上司が職務に必要な能力(知識・技能・資格等)を再確認し、能力の伸長が必要なものを自己の成長目標として設定し、上司とともにその達成を目指すことで、社員一人ひとりの能力の成長と業務成果への反映を促すものです。

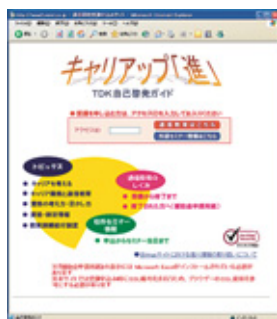
成長目標プランへの支援

① キャリアアップ

通信教育講座／社外セミナーを小冊子にまとめ国内子会社含め社員全員に配布し、必要な時に適切な学習がスタートできるようにしています。通信教育が修了した場合には受講料の一部を援助しています。



案内テキスト



受講申込専用サイト

② TDK資格取得奨励制度

国家資格等が必要な業務に対する準備、およびプロフェッショナル人材育成の一助として、業務に必要な国家資格、公的資格等を整理し紹介しています。

資格を取得した社員には、その資格によって定められた資格取得奨励金を支給し、難易度の高い資格を取得した社員には、人事担当役員による表彰が行われます。

③ その他の人材育成制度

①『留学制度』

業務上必要の高度専門知識を有する人材を育成するために、社内研修のみならず、社外の専門機関に中長期にわたり社員を派遣し、プロフェッショナル人材を養成する制度です。経営コース・法務コース・技術経営コースがあり、MBAやMOTの学位を取得することも可能になります。

②『部門別研修の促進』

全社教育体系とは別に、部門ニーズに即して、それぞれの職場で自主的に教育研修を実施するために、部門での教育企画、運営をサポートする制度を整えています。

自己啓発キャンペーンの実施

□目的・概要

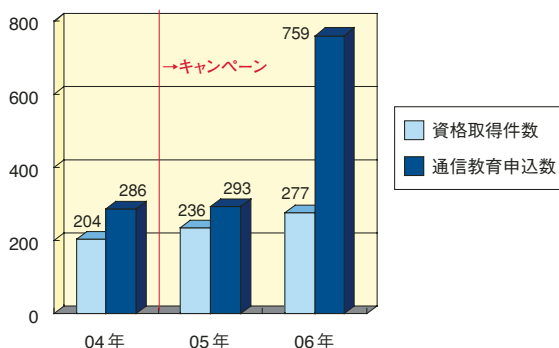
社員が常に“自己成長”する風土をさらに推進していくため、2005年度・2006年度において、自己啓発キャンペーンを実施しました。2005年度では、「自己成長や社会貢献を目的とした活動計画(チャレンジプラン)」を募り、入賞者に奨励金と有給休暇を付与。2006年度は、「資格取得者の海外研修への参加(香港を予定)」「通信教育優秀修了者の受講料全額援助」を行いました。

□効果

キャンペーン実施の2005年以降、資格取得件数および通信教育申込数とも増加しています。

□今後の予定

今後は、“キャンペーン”という組織的な啓蒙活動ではなく、若手社員のキャリア開発目標設定を積極的に支援することにより、自主的に自己成長を目指す仕組みをつくっていきたいと考えています。



スポーツ&音楽教育プログラム

「有名陸上選手による訪問指導」と 「公開リハーサル・アウトリーチミニコンサート」

当社の社会貢献活動は、社は「創造によって文化、産業に貢献する」という企業精神がベースになっており、人間の心を高揚させ、感動を与えてくれるスポーツや芸術活動を支援しています。TDKは、世界陸上選手権の1983年第1回大会より、オフィシャルパートナーとなり、現在は男子ゼッケンスポンサーとして協賛しています。そして陸上競技を学ぶ

学生の技術と意識の向上を目的に、各大会組織委員会と協力して、社会貢献プログラムを実施しています。また、音楽を学ぶ人々を対象にした世界一流のオーケストラの公開リハーサル鑑賞、そしてそのオーケストラ楽団員に学校へ出向いて演奏してもらうアウトリーチ（出張）ミニコンサートを実施しています。

スポーツ教育プログラム

2007年5月、“TDK世界陸上イメージキャラクター”である三段跳び金メダリストのクリスチャン・オルソン選手による社会貢献プログラム「ヤングアスリートトレーニングプログラム」を大阪の長居陸上競技場で行いました。関西学生陸上競技連盟に所属する大学生跳躍選手約60名が参加。オルソン選手は自身のコーチと一緒に、自分が普段行っているランニングとストレッチを教え、1人ずつに跳躍の指導をしました。TDKは過去にも、世界陸上選手権時に若年層への教育プログラムを実施しており、今後も本選手権に絡めた教育プログラムを実施していく予定です。



学生に跳躍のアドバイスをするオルソン選手

音楽教育プログラム



公開リハーサル鑑賞に招待された学生たち

●公開リハーサル鑑賞

2001年からスタートしたTDKオーケストラコンサート公開リハーサルは、普段なかなか目にすることのできない世界の一流指揮者と楽団員が行う、生のリハーサル現場に立ち会い、その音作りを体験するという貴重なプログラムです。2006年は、ユーリー・テミルカーノフ氏が率いるロシアのサンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の公演に、音楽を勉強している学生の方を150名ご招待しました。さらに、学生の方から指揮者や楽団への質問も募集。その主な質問に対する回答をリハーサル当日に配布しました。

●アウトリーチミニコンサート

次代を担う若い人たちに、世界一流のオーケストラ団員による演奏を目の前で鑑賞することで、本物のクラシック音楽に触れてもらい、興味や親しみを持ってもらいたいという思いから、2003年より弊社が協賛するオーケストラコンサートの楽団員に、ボランティアで小中学校を訪問し、演奏していただく企画を実施しています。2006年は、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の金管楽器首席奏者“ロシアン・プラス”による高校生へのレッスンとミニコンサートを、都内で行ないました。



ロシアン・プラスによるレッスン